



大阪ガス



屋内設置強制給排気型

取扱説明書

31-753型

31-754型

保証書付

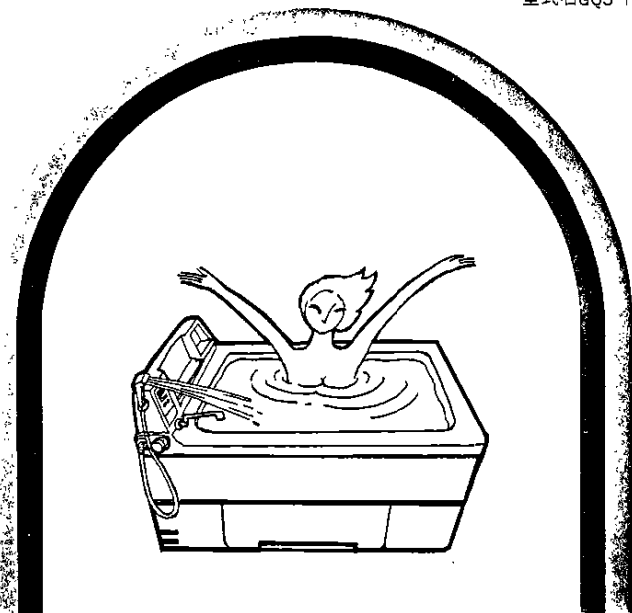
型式名GQS-1000FFX

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪 06 (652) 0001 ☎557
北支社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪 06 (301) 1251 ☎532
堺支社	堺市住吉横町2-2-19	☎堺 0722(33) 1131 ☎590
北摂支社	高槻市藤の里町3-9-6	☎高槻 0726(71) 0361 ☎559
阪神支社	西宮市和上町4-11	☎西宮 0798(28) 3101 ☎562
東阪支社	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内 0728(82) 1131 ☎578
京阪支社	枚方市西田宮町16-17	☎枚方 0720(41) 1251 ☎573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸 078(576) 5231 ☎650
京都支社	京都市中京区丸太通御池角	☎京都 075(231) 8151 ☎604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44) 1111 ☎631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	☎和歌山 0734(31) 2481 ☎640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	☎姫路 0792(85) 2221 ☎670
東播支社	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801 ☎675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 07962(3) 2221 ☎668
湖南支社	津海市通分町字飛堀6-80-1	☎津 0775(62) 5311 ☎525
彦根支社	彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22) 3131 ☎522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	☎長浜 0749(22) 7171 ☎528
南大阪住設営業所	堺市砂道町1-3-1	☎堺 0722(27) 1781 ☎590
阪神住設営業所	芦屋市打出町6-26	☎芦屋 0797(31) 3474 ☎559
八ツゼコーロ		
大阪店	大阪市東区平野町5-1	☎大阪 06 (202) 2111 ☎541
京都店	京都市中京区丸太通御池角	☎京都 075(231) 8151 ☎604
芦屋店	芦屋市上宮川町2-15	☎芦屋 0797(22) 9891 ☎659
奈良店	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(48) 4044 ☎631
池田店	池田市城南町1-1-26	☎池田 0727(53) 3315 ☎663

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社



ガスゴム管もときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もともと開
める習慣を



お風呂の
水もれ、沸かしすぎ
にご注意



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

SAE8817

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのバックイン屋内設置強制給排気型をお求めいただき、ありがとうございました。

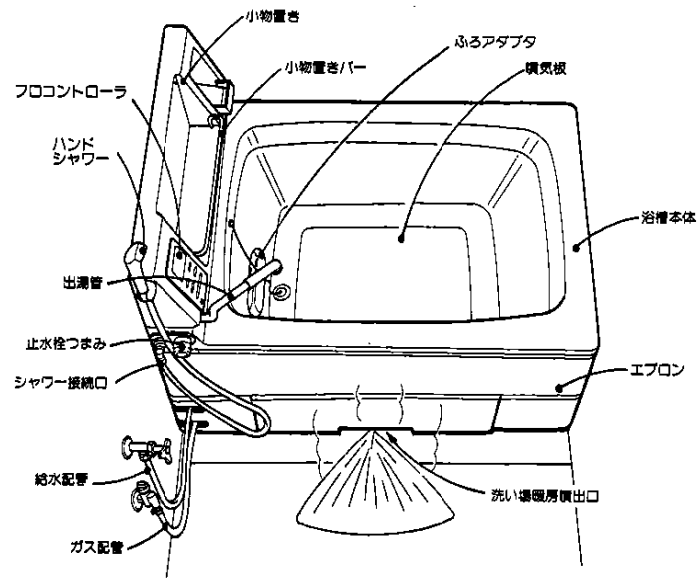
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特長	3
●寸法図	3
●操作部の名称とはたらき	4
●特に注意していただきたいこと	5・6・7・8
●器具の設置	8
●使用手順	9・10・11・12・13・14・15・16
●冬期の凍結による破損防止について	17・18
●故障異常の見分け方と処置方法	19・20・21・22
●日常の点検・手入れ	23
●長期間使用しない場合	24
●アフターサービスのお申し込み	25
●寸法図と仕様一覧表	26・27・28
●本製品と快適なくらしのために	29

各部の名称

器具本体

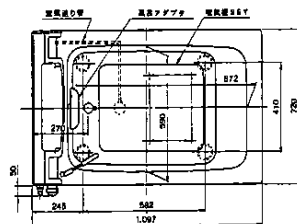


特長

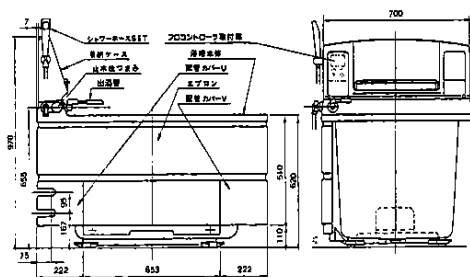
- 1 お風呂のお湯張りは、適温&適量で自動ストップ
- 2 いつでもきれいなお湯を高温差し湯(追い焚き)します
- 3 洗い場暖房で、冬でも足もとポカポカ
- 4 気泡風呂機能で温泉気分が味わえます
- 5 身体をひきしめる冷温シャワー

寸法図

●浴槽
03-173型

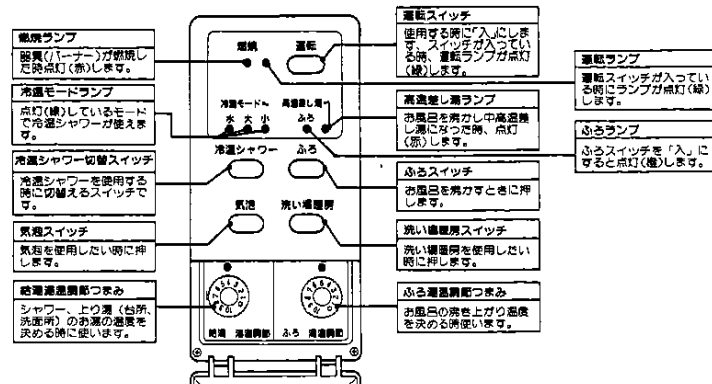


(注) 03-174型は左右対称です。

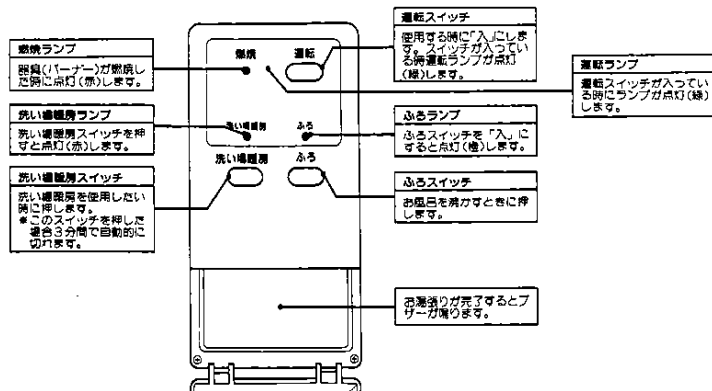


操作部の名称とはたらき

フロコンローラ



メインコンローラ



特に注意していただきたいこと

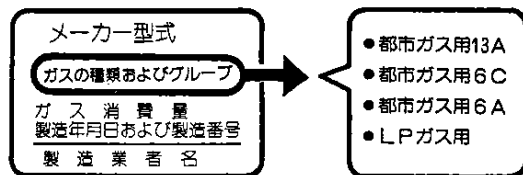
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

器具本体の前面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘板）



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

市販の補助用具についてのご注意

- この器具の純正品以外には使用しないでください。
（不完全燃焼の原因となります）
- 混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水せん）を選定してください。水圧の低い地域では泡沫水せんを使用しないでください。

特に注意していただきたいこと②

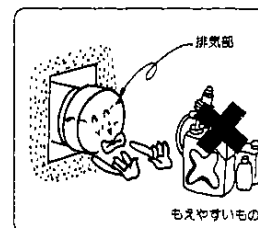
使用上のご注意

ガス漏れ予防

- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

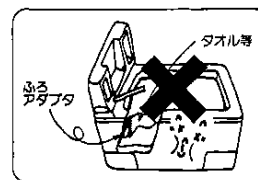
火災予防

- 器具の排気部の周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に洗たく物などでおおわないでください。火災、不完全燃焼、異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

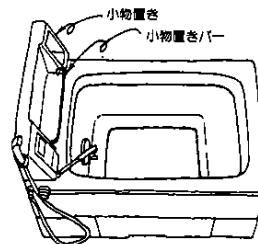


入浴時のご注意

- 浴そうのふるアダプタ出口をタオル等でふさぎますと正常にお風呂沸かしができません。



- 小物置きバーに体重をかけた、引いて立ちあがったりしないでください。破損した場合非常に危険です。



健浴剤(入浴剤)についてのご注意

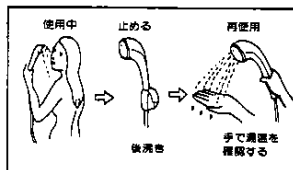
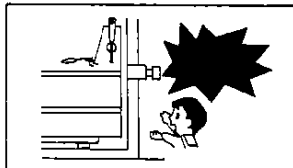
イソフ、酸、アルカリを含んだ健浴剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

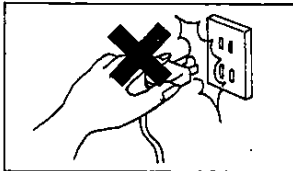
やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の給排気トップとその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
- シャワーをご使用になって湯を止めた直後や風呂の追焚きをした直後に再度シャワーをお使いになるときはいきなり体や頭にはかけずに手で湯温を確認してからお使いください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



凍結に関するご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒時には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。
(詳しくは17～18ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。)

凍結じだとき

- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④

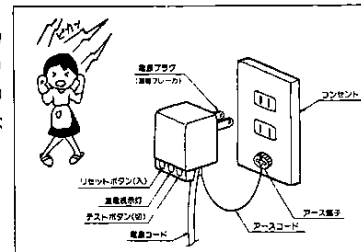
使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障異常の見分け方と処置方法については19ページをお読みください)

雷雨時のご注意

- この器具には、電線からの誘導雷等の異常電圧を吸収し、器具を保護するサージ吸収装置(ZNR)を備えています。雷撃については電気器具生成に問題がありますので、近くで雷の音が聞えてきたときは、電気部品の破損を防止するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- 落雷の際、電源プラグの漏電ブレーカが作動し(漏電時)も通電しなくなりますので、電源プラグの漏電ブレーカのリセットボタンを押して、正常になってから再使用してください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは23ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずにお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

器具の設置

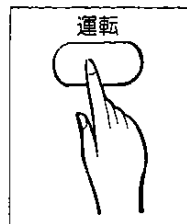
(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

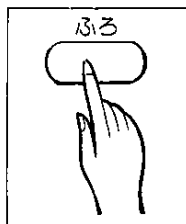
使用手順

■ お風呂沸かしについて

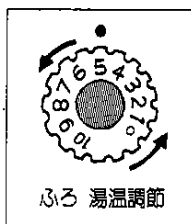
● 沸かし方は3通りあります。詳しくは11・12ページをお読みください。



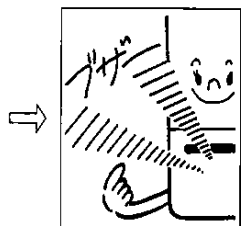
運転スイッチを「入」にします。
運転ランプが点灯(緑)します。



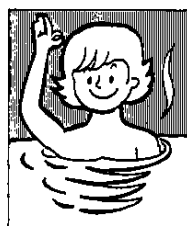
ふろスイッチを「入」にします。
ふろランプが点灯(橙)します。



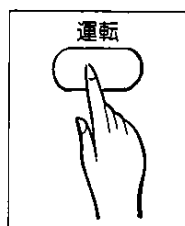
ふろ湯温調節つまみで湯温を決めます。
(湯温調節は13ページを参照してください。)



プザーでお知らせします。
(メインコントローラ)で鳴ります。



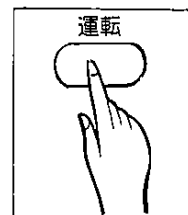
入浴OK /



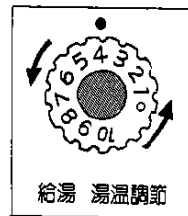
入浴終了後運転スイッチを「切」にします。

使用手順②

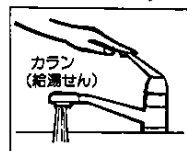
■ 給湯について



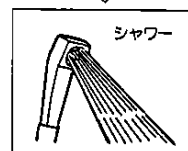
運転スイッチを「入」にします。
運転ランプが点灯(緑)します。



給湯湯温調節つまみで湯温を決めます。
(湯温調節は13ページを参照してください)

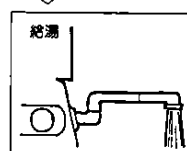


給湯せんを開けます



シャワー

止水栓つまみを「シャワー」の方へまわす



給湯

止水栓つまみを「給湯」の方へまわす

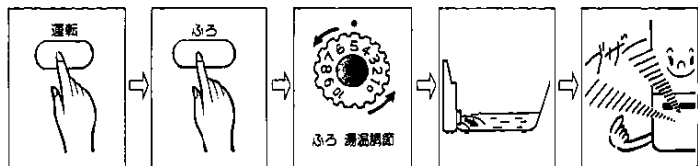


使用后、運転スイッチを「切」にします。

使用手順③

お湯張りでお風呂を沸かす方法

コントローラ（メインコントローラ・フロントローラどちらでもできます）のふるスイッチを押すだけで適温適量のお湯を浴槽に張ることができます。



運転スイッチを「入」にします。

ふるスイッチを「入」にします。

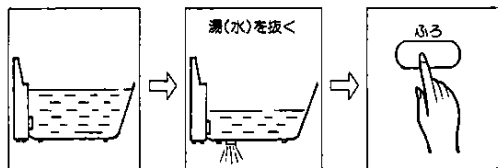
ふる湯温調節つまみで湯温を決めます。

ふるアダプターから浴槽に給湯されます。

適量・適温でプザーが鳴ります。

ご注意!

前日の残り湯（水）が多いとき（浴槽の約半分以下）は自動停止する水位が高くなりすぎる場合があります。この場合は残り湯を半分以下（25cm以下）にしてから上記の操作をしてください。

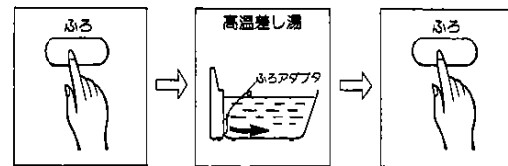


ふるスイッチを「入」にする。

使用手順④

追い焚き（高温差し湯）の方法

入浴中、湯が少しさめた時の追い焚きにご使用ください。



ふるスイッチを「入」にします。

ふるアダプターから追い焚き（高温差し湯）します。

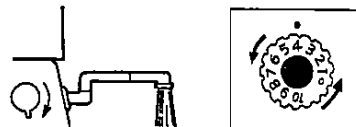
適温になればふるスイッチを「切」にします。

ご注意!

- ふるアダプターから高温の差し湯がでてきたときは「高温差し湯ランプ」が点灯してお知らせします。
- ふるスイッチを「切」にした場合「高温差し湯ランプ」「ふるランプ」は消えますが「燃焼ランプ」は数秒遅れて消えます。
- ★追い焚き（ふるスイッチ）の消し忘れ防止のため約5分間で自動的に停止します。
- ★高温差し湯中はふるアダプタの部分からあつい湯が出ますので、入浴中は足もとなどに十分注意してください。

足し湯の方法

浴槽の湯が少なくなった時は出湯管で足し湯をしてください。足し湯の温度は給湯湯温調節つまみで操作してください。



止水栓つまみを「給湯」の方へまわす。

給湯 湯温調節

使用手順⑤

■ 湯温調節について

★お風呂の湯温（沸き上がり温度）を決めましょう



ふろ 湯温調節

- ふろ湯温調節つまみをまわし、湯温を設定します

つまみの番号	温 度 °C
0	} 38
1	
2	39
3	40
4	41
5	42
6	43
7	45
8	} 50
9	
10	

※この表の温度は目安です

★上り湯・シャワーの湯温を決めましょう



給湯 湯温調節

- 給湯湯温調節つまみをまわし、湯温を設定します。

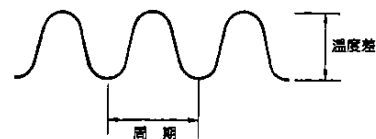
つまみの番号	温 度 °C
0	} 38
1	
2	39
3	40
4	42
5	44
6	46
7	50
8	} 60
9	
10	

※この表の温度は目安です

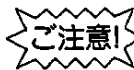
使用手順⑥

■ 冷温シャワーについて

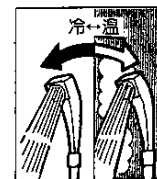
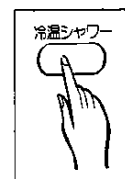
冷温シャワーはシャワーの温度を高・低交互に自動的に切替えます。



周期は約15秒前後、温度差は水温・水圧により異なりますので手で湯温を確認してからシャワー使用してください。



- 体質・体力に個人差があります。体調に合わせてご使用ください。
- 冬期は温度差が大きくなりますので「小」モードでお使いください。



- 冷温シャワー切替スイッチを押します

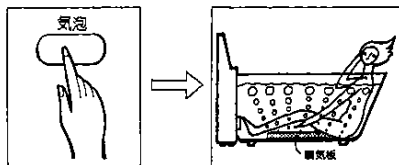
※大・小・水の3種類のモードがあります。お好みのモードにしてください。

※冷温シャワーのモードは使用後約3分で通常のシャワーに自動的に変わります。

★シャワーで浴槽の掃除等で水を使用する時も冷温モードを「水シャワー」にして使用してください。

使用手順⑦

■ 気泡について



● 気泡スイッチを押します

(連続15分間で自動的に停止します)
*停止したときは再度気泡スイッチを押します。

★噴気板の取扱いはていねいにご覧ください。
落したりすると破損する恐れがあります。
また、噴気板の上を足などで強く踏みつけるようなことはさけてください。

★気泡を使用する時は必ず噴気板を使用して入浴してください。

★ご注意!

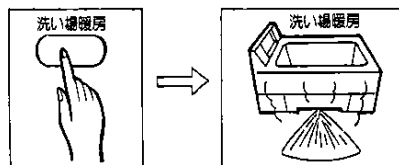
★はじめて気泡入浴される場合は当初入浴時間1日につき2~3分程度から始めてください。そして慣れるにしたがって使用時間をのばしてください。しかし長くても1日10分程度にしてください。

★入浴温度や使用時間について。体質、体力に個人差があります。体調に合わせてご使用ください。

★心臓病、肝臓病、脳出血、心臓梗塞、高度の貧血など医師から入浴を禁じられている方や、妊産婦の方は気泡入浴をさけてください。



■ 洗い場暖房について



● 洗い場暖房スイッチを押します。

*メインコントロールで洗い場暖房スイッチを押した場合、3分間で自動的に終了します。

*湯温を安定させる間ふるアダプターから浴槽へ湯がでますが故障ではありません。

使用手順⑧

漏電ブレーカ(電源プラグ)の使用上のご注意

- 必ず付属の漏電ブレーカを浴室外のアース端子付コンセントに接続してください。
- 電源コードを切断して漏電ブレーカを介さずに直接器具へ電源を接続しないでください。

- 必ず月に1回以上漏電ブレーカの動作確認を行ってください。

①プラグをコンセントに差し込んでください。

②テストボタン(緑)を押してください。

漏電表示灯が点灯(橙)

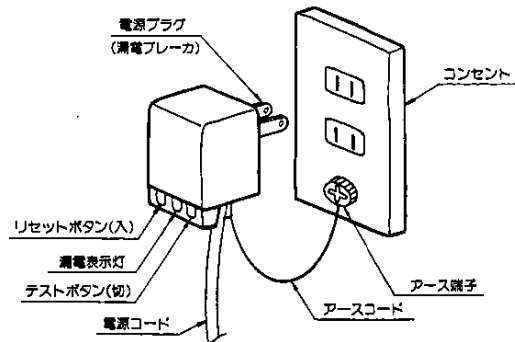
③リセットボタン(黄)を押してください。

漏電表示灯が消灯し、テストボタンが戻ります。

(動作確認は器具が運転していない時におこなってください)

- ご使用中に漏電ブレーカが作動した場合は、漏電表示灯が点灯します。この時はリセットボタンを押して漏電表示灯が消灯することを確認してください。

この操作をしても、再び漏電ブレーカが作動する場合は器具の使用をやめ、ガス元せんをしめ、お買上げになった販売店又は大阪ガス支社へご連絡ください。



ランプ点滅について(ガスコントロール)

初めて使う場合などガス配管内に空気が溜まって点火しなかったり、使用中万が一火が消えると、燃焼ランプが点滅しガスを自動的に止めます。

このときは運転スイッチをいったん「切」にし数秒待った後、再度運転スイッチを「入」にしてください。

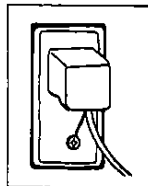
この操作をくり返しても点滅する場合はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを組込んでいます。
- 器具の電源プラグが抜けているとヒーターは動きませんのでご注意ください。
- ヒーターによる凍結予防は補助的なものです。外気温が極端に低い場合は「通水による方法」を行なって下さい。

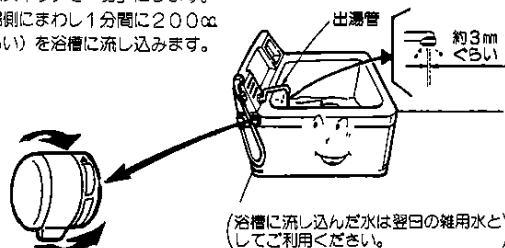


電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。電源プラグが外れているとヒーターが作動しません。

通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。

- ①ガスの元せんをしめます。
- ②コントローラの運転スイッチを「切」にします。
- ③止水栓つまみを給湯側にまわし1分間に200cc（牛乳ビン1本ぐらい）を浴槽に流し込みます。



（浴槽に流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用ください。）

※流量が不安定なことがありますので、窓のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

冬期の凍結による破損防止について②

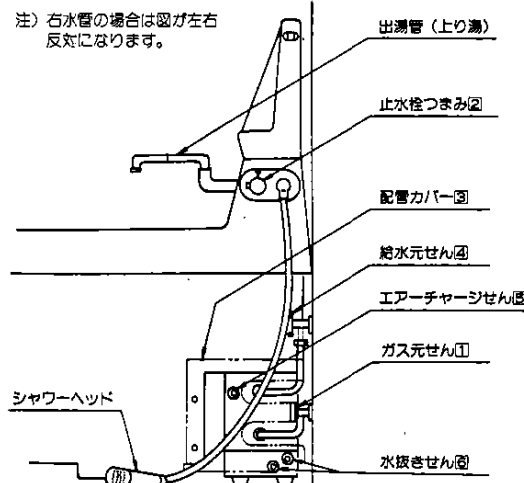
器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

- ①配管カバー図を取り外す。
- ②ガスの元せん口をしめる。
- ③給水元せん図をしめる。
- ④止水栓つまみ図を給湯の位置にする。
- ⑤給湯配管している場合は、洗面所・台所等の給湯せんを全開にする。
- ⑥コントローラの運転スイッチを「入」にし、ふろスイッチを「入」にする。
- ⑦エアージャージせん図を左にまわしてあげる。
- ⑧水抜きせん図を左にまわしてあげる。
- ⑨止水栓つまみ図をシャワーの位置にし、図のようにシャワーヘッドを床におく。
- ⑩ふろスイッチを「切」にする。
- ⑪洗い湯暖房スイッチを「入」にして、10秒以上まつ。
- ⑫運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、水抜きせん図より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再度使用されるときは、水抜きせん図、エアージャージせん図、およびすべての給湯せんをしめ、止水栓つまみ図を止の位置に戻してから給水元せん図をあげすべての給湯せん、および出湯管、シャワーヘッドから水が出るのを確認してからガス元せん口を明け、配管カバー図を取り付けた後ご使用ください。

注）右水管の場合は図が左右反対になります。



〔凍結したときのご注意〕

万一、水抜きを忘れて凍結を起した場合には、氷が解けるまで火をつけしないでください。すべての給湯せんから水が出ることを確認してからご使用ください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯せんを絞らずで水になった	この器具は流水量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようすると、湯温が高くなります。 給湯せんをもうすぐし開いて出湯量をふやせば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
排気部から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙として見えるだけで故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため使用後約3分間は回転しています。
ふろ運転中一時停止する(ふろランプは点灯)	ふろ運転中に給湯・シャワー・洗い場暖房を使用すると自動的に給湯湯温調節モードになりふろ運転が停止します。給湯・シャワー・洗い場暖房の使用がおわれば引き続きふろ運転になります。
ふろアダプタから泡がでる	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ出てくるもので故障ではありません。
気泡がとまる	15分間で自動的にとまります。
洗い場暖房がとまる	メインコントローラで操作した場合は、3分間で自動的にとまります。
洗い場暖房スイッチを「入」にするとふろアダプタから湯がでる	洗い場暖房湯温(約42℃)が安定するまでは、安全のため、浴槽のふろアダプタから湯がでます。

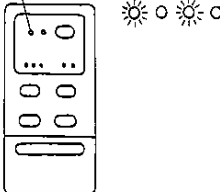
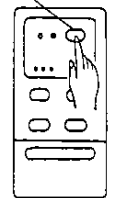
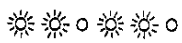
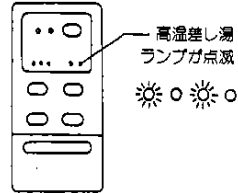
●この器具は連続して60分以上燃焼した場合(給湯、ふろ共)は燃焼ランプが点滅し、ガスを自動的に止めます。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

●浴そうの排水せんの締め忘れや締め方が不十分で30分経過しても設定水位に満たない場合、ガスを自動的に止めます。この時は、浴そうの排水せんを完全に締めたのち、ふろスイッチを再度押します。

故障異常の見分け方と処置方法②

警報について

次のような場合にはランプが点滅して警報状態となります。

項目	内容及び	処置
1. 燃焼ランプが点滅 	<u>バーナに点火しなかった</u> ●ガス元せんが開いていることを確かめてください。 ●運転スイッチをいったん「切」にし、数秒待った後、再び「入」にしてください。	
2. 燃焼ランプが間欠点滅 	<u>使用中に消火した</u> ●60分以上連続して使用した場合、ガスを自動的に止めます。 ●運転スイッチをいったん「切」にし数秒待った後、再び「入」にしてください。	
3. 	<u>ふろ湯温検知部の異常</u> ●ふろの使用はできません。 ●給湯(シャワー、出湯管)は通常通り使用できます。	

再使用できなかつたりひんぱんに警報になる場合及び3.の場合は、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障異常の見分け方と処置方法③

原因 \ 現象	点灯しない						処置方法
	燃焼ランプが点灯しない	ガス元せんが点灯しない	給水元せんが点灯しない	湯温調節機能のランプが点灯しない	安全装置のランプが点灯しない	バーナが点灯しない	
ガス元せんの開き忘れ		○					ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開き不足		○			○		ガス元せんを全開にする
ガスがなくなっている (LPGガスの場合)			○		○		ポンペを新しく替える
ガス管の中に空気が残っている			○				16ページ参照
ガス圧が適切でない			○		○	○	*
電源プラグが抜けている	○	○			○		コンセントにしっかり差し込む
停電している	○	○			○		使用をいったん中止する
漏電ブレーカの作動	○						16ページ参照
安全装置の作動			○	○	○		*
バーナー炎口つまり			○			○	*
湯温調節機能を切替えていない						○	13ページ参照
給水元せんの開き不足		○					給水元せんを全開にする
給水元せんの開き忘れ		○					給水元せんを全開にする
湯温調節が適切でない						○	13ページ参照
60分以上連続使用した			○		○		19ページ参照
残り湯(水)が多すぎる						○	11ページ参照

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障異常の見分け方と処置方法④

安全装置が作動したときの処置方法

■バーナ安全装置

- 使用中に万一、バーナの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
- 給湯せんを閉めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。

- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

- 使用中器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

■過圧逃し弁

- 万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き、内圧を下げます。

- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、操作部の運転スイッチを切ってからお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■残火安全装置（ハイリミットスイッチ）

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。

- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、操作部の運転スイッチを切ってからお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常が見つけれられたときは、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
- お手入れの前にはガス元栓を閉じ、電源プラグを抜き、器具が冷えてからお手入れをしてください。
- 前面板などははずさないでください。

点検

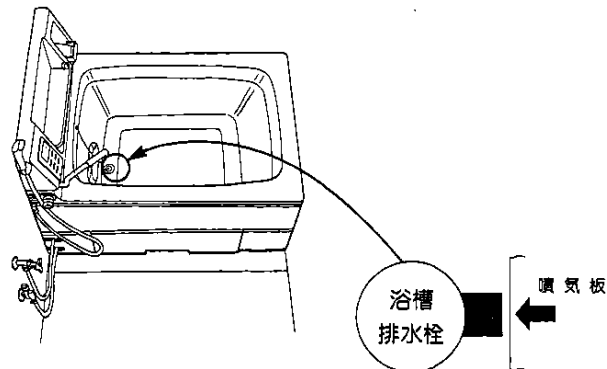
- 運転中に器具から異常音が聞えませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりおよび排気部のそばに燃えやすいものはありませんか。
- 給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。（他栓給湯をしている場合）
〔注〕水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

お手入れ

- 器具やコントローラの表面が汚れたときは、水にぬらしだやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
〔注〕コントローラの内部には電気部品が入っていますので、なるべく水をかけないようにしてください。
- 浴槽本体や浴槽の小物置きの部分の表面はやわらかいスポンジを使い浴槽用洗剤で洗ってください。クレンザーやたわしは傷をつけますので使用しないでください。
- 入浴のあと水を流すときに洗うと簡単です。時間がたちますとじだいに汚れが落ちにくくなります。
- 地域（所）により水道管の鉄分が水と共に流れ出し、浴槽の底部にはん点状の赤錆が付着することがありますので、底部の掃除は十分に行なってください。

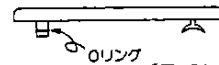
日常の点検・手入れ②

- 噴気板の表面はやわらかいスポンジを使い浴槽用洗剤で洗ってください。



噴気板を取り外す際は、矢印↑の裏側の凹み（手掛り）に手をかけて持ち上げるとうまく外せます。

〔取り付ける際は矢印↑を合わせればうまくセットできます。〕



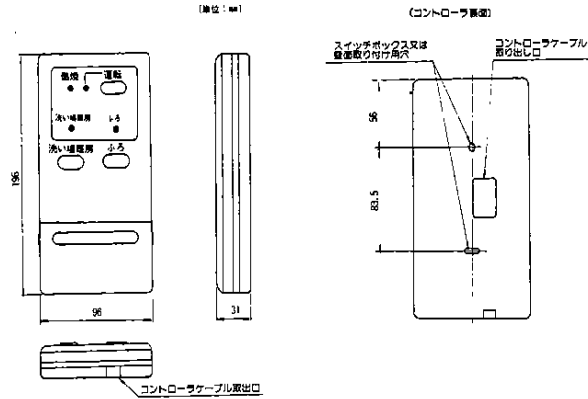
万一「Oリング」を破損した場合は市販のもの（P18Oリング）を利用してください。

長期間使用しない場合

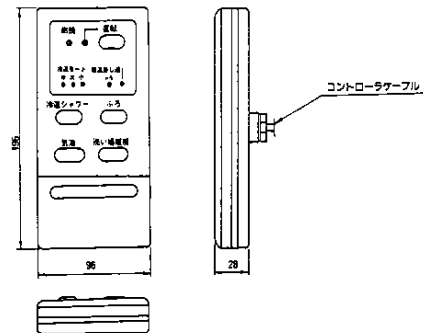
長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については18ページをお読みください）

寸法図と仕様一覧表②

●メインコントローラ



●フロコントローラ



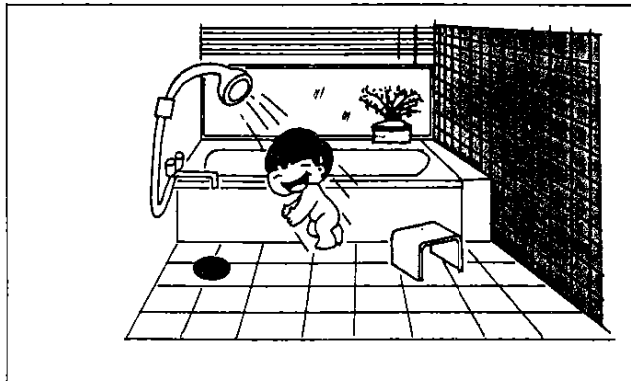
寸法図と仕様一覧表③

仕様一覧表

項目	種別	31-753、754型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	L P ガス
ガス消費量 (kcal/h)		19000	19000	19000	1.58kg/h
種類	形 式	ブンゼン式バーナー			
	結 露 方 式	先止め式			
点火	方 式	電子イグナイターによるダイレクト点火			
	使用水圧	1.0~10kg/cm ²			
水 圧	作 動 水 圧	0.2kg/cm ²			
	最低作動流量	2.5ℓ/min以下			
外形寸法	寸 法	器具本体高さ555mm×幅116mm×奥行710mm			
	重 量 (本体)	器具本体 24kg			
接続	給 水	15A (R ¹ / ₂)			
	給 湯	15A (R ¹ / ₂)			
	ガ ス	15A (R ¹ / ₂)			
電気関係	電 源	AC100V 60Hz			
	消費電力	83W (凍結予防ヒーター 112W)			
安全装置		炎検出装置、過圧返し弁 残火安全装置、凍結予防ヒーター、漏電安全装置 過熱防止装置、水抜きせん			
日水協認可登録番号		A-3511			

ガス種別	出 湯 能 力 (能力最大) (ℓ/分)		
	上昇温度	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都 市 ガ ス	6C	10	6.3
	13A	10	6.3
	6A	10	6.3
L P ガ ス	10	6.3	

本製品と快適なくらしのために



年中、快適に風呂給湯と、追い焚き、(高温差し湯) シャワー、上り湯が使用できます。又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから
(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡く
ださい。



大阪ガス



屋内設置強制給排気型

取扱説明書

31-755型

31-756型

保証書付

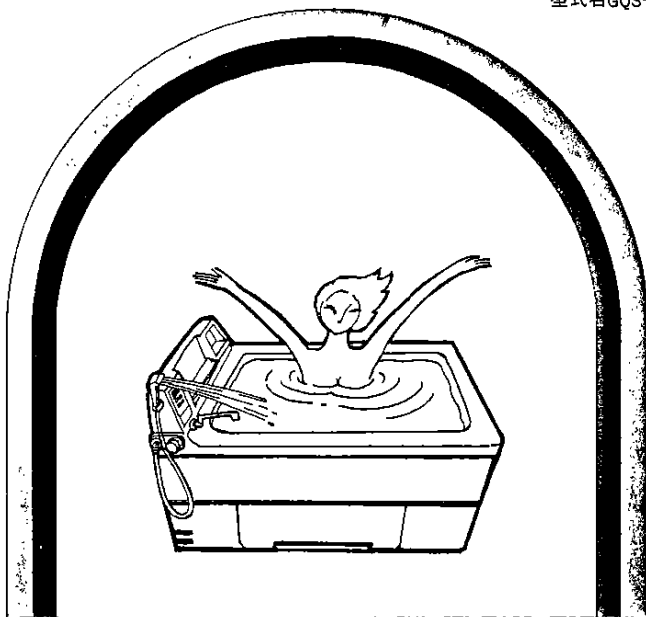
型式名GQS-1000FF

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	大阪市西成区玉出渠2-9-41	☎大阪 06 (852) 0001 ☎557
北支社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪 06 (301) 1251 ☎532
堺支社	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131 ☎590
北摂支社	高槻市藤の里町3-9-6	☎高槻 0728(71) 0361 ☎589
阪神支社	西宮市和上町4-11	☎西宮 0798(26) 3101 ☎662
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内 0729(82) 1131 ☎578
京阪支社	枚方市西田宮町18-17	☎枚方 0720(41) 1251 ☎573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸 078(576) 5231 ☎650
京都支社	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231) 8151 ☎604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44) 1111 ☎631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	☎和歌山 0734(31) 2481 ☎640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	☎姫路 0792(85) 2221 ☎670
東播支社	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801 ☎675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 07982(3) 2221 ☎688
湖南支社	香川県高松市字荒畑680-1	☎高松 0775(62) 5311 ☎525
彦根支社	彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22) 3131 ☎522
(長浜営業所)	長浜市南兵衛町3-4	☎長浜 0749(62) 7171 ☎526
南大阪住設営業所	堺市砂道町1-3-1	☎堺 0722(27) 1761 ☎590
阪神住設営業所	芦屋市打出町6-28	☎芦屋 0787(31) 3474 ☎669
ハウゼコール		
大阪店	大阪市東区平野町5-1	☎大阪 06 (202) 2111 ☎541
京都店	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231) 8151 ☎604
芦屋店	芦屋市上宮川町2-15	☎芦屋 0797(22) 9831 ☎659
奈良店	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(48) 4044 ☎631
田辺店	田辺市城南町1-1-26	☎田辺 0727(53) 3315 ☎563

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるときの注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もともせんも開
める習慣を



お風呂の
水もれ、沸かしすぎ
にご注意



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

SAE8818

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのバックイン屋内設置強制給排気型をお求めいただき、ありがとうございました。

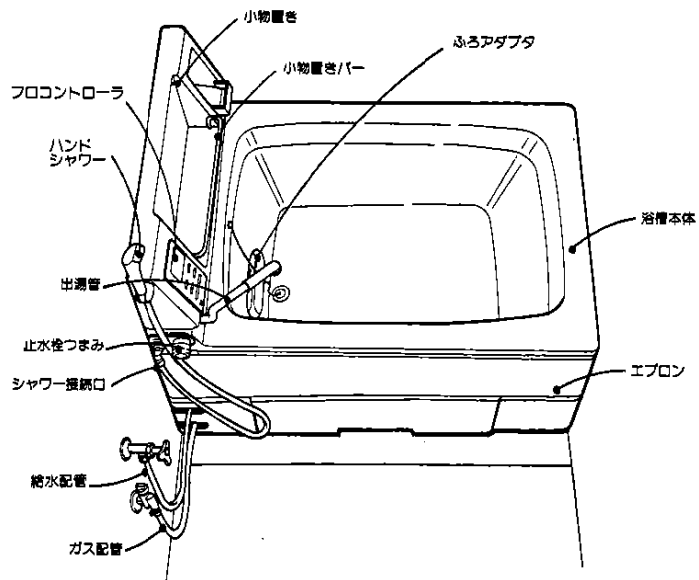
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特長	3
●寸法図	3
●操作部の名称とはたらき	4
●特に注意していただきたいこと	5・6・7・8
●器具の設置	8
●使用手順	9・10・11・12・13・14・15
●冬期の凍結による破損防止について	16・17
●故障異常の見分け方と処置方法	18・19・20・21
●日常の点検・手入れ	22
●長期間使用しない場合	22
●アフターサービスのお申し込み	23
●寸法図と仕様一覧表	24・25
●本製品と快適なくらしのために	26

各部の名称

●器具本体

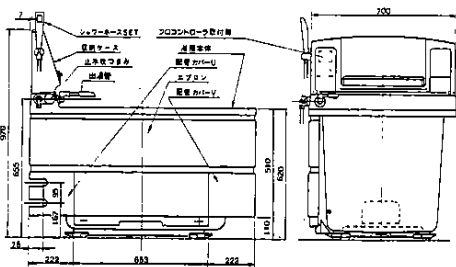
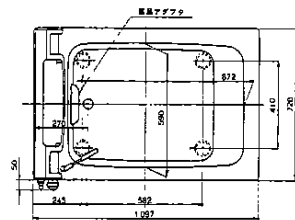


特長

- 1 お風呂のお湯張りは、適温&適量で自動ストップ
- 2 いつでもきれいなお湯を高温差し湯(追い焚き)します
- 3 身体をひきしめる冷温シャワー

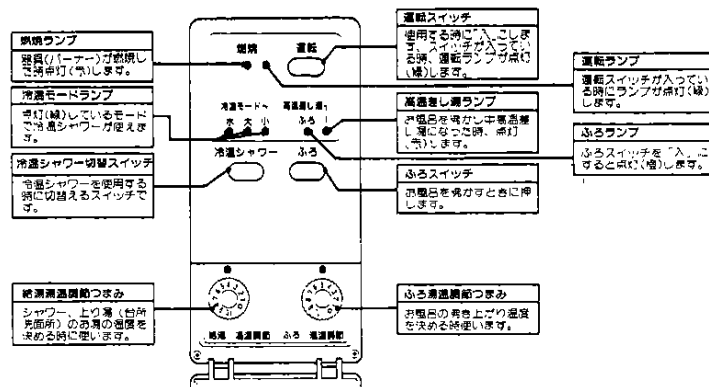
寸法図

●浴槽
03-176型



操作部の名称とはたらき

フロントローラ



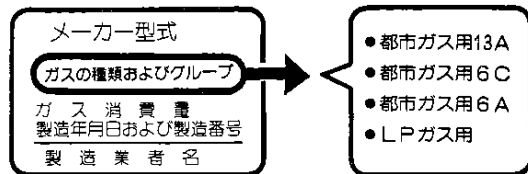
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の前面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘板）



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

市販の補助用具についてのご注意

- この器具の純正部品以外は使用しないでください。
（不完全燃焼の原因となります）
- 混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていないもの（瞬間沸湯器用混合水せん）を選定してください。水玉の低い地域では泡沫水せんを使用しないでください。

特に注意していただきたいこと②

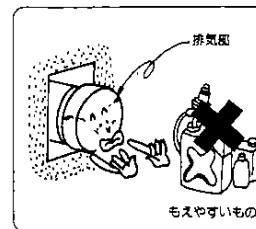
使用上のご注意

ガス漏れ予防

- お出がけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかとときどき確かめてください。

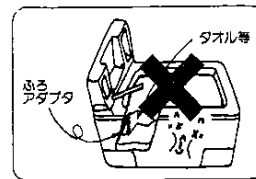
火災予防

- 器具の排気部の周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に洗たく物などでおおわないでください。火災、不完全燃焼、異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

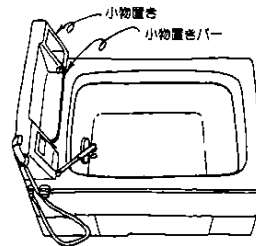


入浴時のご注意

- 浴そうのふるアダプタ出口をタオル等でふさぎますと正常にお風呂湯がしができなくなります。



- 小物置きバーに体重をかけたり、引いて立ちあがりしないでください。破損した場合非常に危険です。



健浴剤(入浴剤)についてのご注意

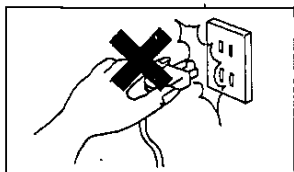
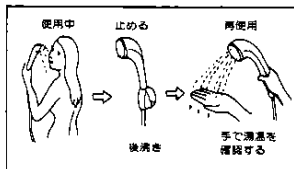
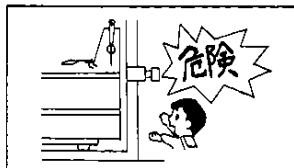
イソウ、酸、アルカリを含んだ健浴剤は熱交換器が腐食する原凶となるものがありますので健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の給排気トップとその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
- シャワーをご使用になって湯を止めた直後や風呂の湯焚きをした直後に再度シャワーをお使いになるときはいきなり体や頭にはかけずに手で湯温を確認してからお使いください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんとを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒時には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。
(詳しくは16～17ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。)

凍結したとき

- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④

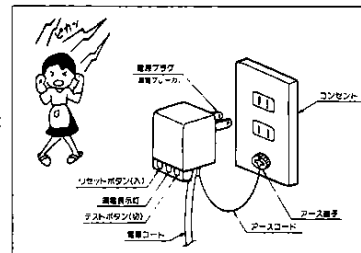
使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのまま使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障異常の見分け方と処置方法については18ページをお読みください)

雷雨時のご注意

- この器具には、電線からの誘導雷等の異常電圧を吸収し、器具を保護する雷サージ吸収装置(ZNR)を備えていますが、直撃雷については電気器具全般に問題がありますので、近くで雷の音が聞えてきたときは、電気部品の破損を防止するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- 落雷の際、電源プラグの漏電ブレーカが作動し(漏電時も)通電しなくなりますので、電源プラグの漏電ブレーカのリセットボタンを押して、正常になってから再使用してください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは22ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずにお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

器具の設置

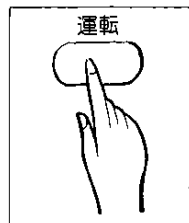
(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

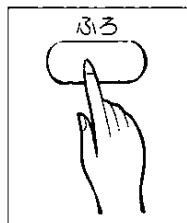
使用手順

■ お風呂沸かしについて

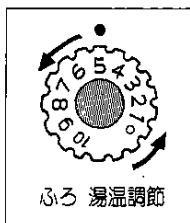
● 沸かし方は3通りあります。詳しくは11・12ページをお読みください。



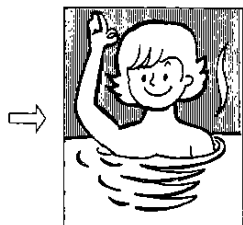
運転スイッチを「入」にします。
運転ランプが点灯(緑)します。



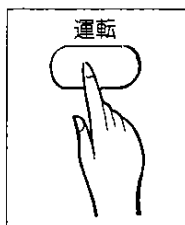
ふろスイッチを「入」にします。
ふろランプが点灯(橙)します。



ふろ湯温調節つまみで湯温を決めます。
(湯温調節は13ページを参照してください。)



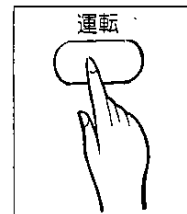
入浴OK /



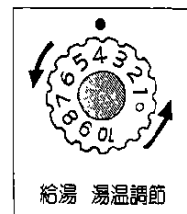
入浴終了後運転スイッチを「切」にします。

使用手順②

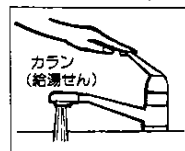
■ 給湯について



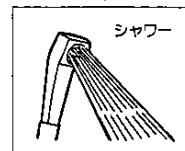
運転スイッチを「入」にします。運転ランプが点灯(緑)します。



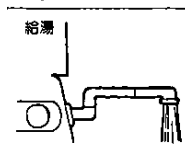
給湯湯温調節つまみで湯温を決めます。
(湯温調節は13ページを参照してください。)



給湯せんを開けます



止水栓つまみを「シャワー」の方へまわす



止水栓つまみを「給湯」の方へまわす

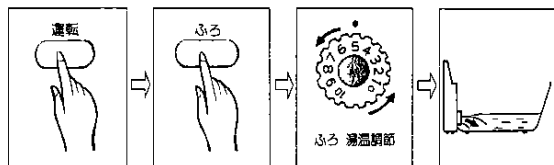


使用后、運転スイッチを「切」にします。

使用手順③

お湯張りでお風呂を沸かす方法

フロコンローラのふるスイッチを押すだけで適温適量のお湯を浴槽に張ることができます。



運転スイッチを「入」にします。

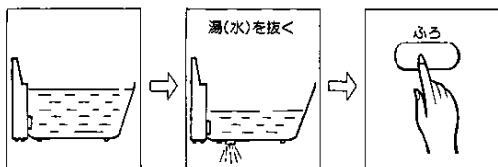
ふるスイッチを「入」にします。

ふる湯温調節つまみで湯温を決めます。

ふるアダプターから浴槽に給湯されます。

ご注意

前日の残り湯（水）が多いとき（浴槽の約半分以上）は自動停止する水位が高くなりすぎる場合があります。この場合は残り湯を半分以下（25cm以下）にしてから上記の操作をしてください。

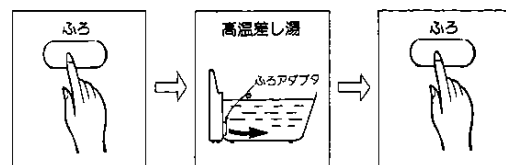


ふるスイッチを「入」にする。

使用手順④

追い焚き(高温差し湯)の方法

入浴中、湯が少しさめた時の追い焚きにご使用ください。



ふるスイッチを「入」にします。

ふるアダプターから追い焚き(高温差し湯)します。

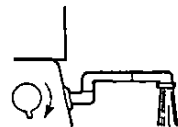
適温になればふるスイッチを「切」にします。

ご注意!

- ふるアダプターから高温の差し湯がでてきたときは「高温差し湯ランプ」が点灯してお知らせします。
- ふるスイッチを「切」にした場合「高温差し湯ランプ」「ふるランプ」は消えますが「燃焼ランプ」は数秒遅れて消えます。
- ★追い焚き（ふるスイッチ）の消し忘れ防止のため約5分間で自動的に停止します。
- ★高温差し湯中はふるアダプターの部分からあつい湯が出ますので、入浴中は足もとなどに十分注意してください。

足し湯の方法

浴槽の湯が少なくなった時は出湯管で足し湯をしてください。足し湯の温度は給湯湯温調節つまみで操作してください。



止水栓つまみを「給湯」の方へまわす。

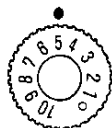


給湯 湯温調節

使用手順⑤

■ 湯温調節について

★お風呂の湯温（沸き上がり温度）を決めましょう



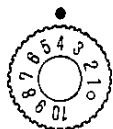
ふろ 湯温調節

- ふろ湯温調節つまみをまわし、湯温を設定します

つまみの番号	温 度 °C
0	} 38
1	
2	39
3	40
4	41
5	42
6	43
7	45
8	} 50
9	
10	

*この表の温度は目安です

★上り湯・シャワーの湯温を決めましょう



給湯 湯温調節

- 給湯湯温調節つまみをまわし、湯温を設定します。

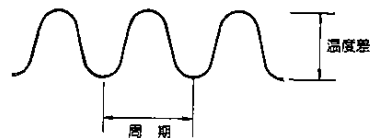
つまみの番号	温 度 °C
0	} 38
1	
2	39
3	40
4	42
5	44
6	46
7	50
8	} 60
9	
10	

*この表の温度は目安です

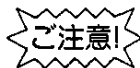
使用手順⑥

■ 冷温シャワーについて

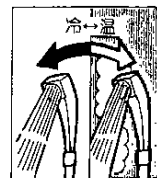
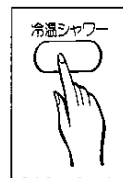
冷温シャワーはシャワーの温度を高・低交互に自動的に切替えます。



周期は約15秒前後、温度差は水温・水圧により異なりますので手で湯温を確認してからシャワー使用してください。



- 体質・体力に個人差があります。体調に合わせてご使用ください。
- 冬期は温度差が大きくなりますので「小」モードでお使いください。



- 冷温シャワー切替スイッチを押します

※大・小・水の3種類のモードがあります。お好みのモードにしてください。

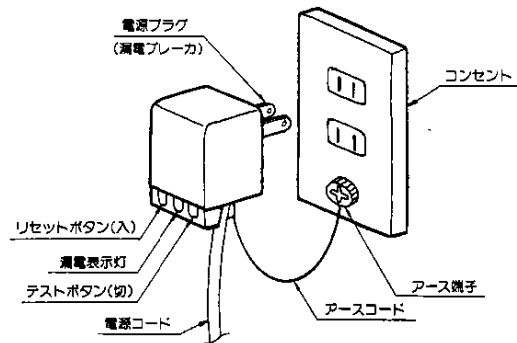
※冷温シャワーのモードは使用後約3分で通常のシャワーに自動的に変わります。

★シャワーで浴槽の掃除等で水を使用する時も冷温モードを「水シャワー」にして使用してください。

使用手順⑦

漏電ブレーカ(電源プラグ)の使用上のご注意

- 必ず付属の漏電ブレーカを浴室外のアース端子付コンセントに接続してください。
- 電源コードを切断して漏電ブレーカを介さずに直接器具へ電源を接続しないでください。
- 必ず月に1回以上漏電ブレーカの作動確認を行ってください。
 - ①プラグをコンセントに差し込んでください。
 - ②テストボタン(緑)を押してください。
漏電表示灯が点灯(橙)
 - ③リセットボタン(黄)を押してください。
漏電表示灯が消灯し、テストボタンが戻ります。
(作動確認は器具が運転していない時におこなってください)
- ご使用中に漏電ブレーカが作動した場合は、漏電表示灯が点灯します。この時はリセットボタンを押して漏電表示灯が消灯することを確認してください。
この操作をしても、再び漏電ブレーカが作動する場合は器具の使用をやめ、ガス元せんをしめ、お買上げになった販売店又は大阪ガス支社へご連絡ください。



ランプ点滅について

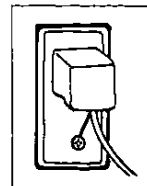
初めて使う場合などガス配管内に空気が溜まっていて点火しなかったり、使用中万が一火が消えると、燃焼ランプが点滅しガスを自動的に止めます。
このときは運転スイッチをいったん「切」にし数秒待った後、再度運転スイッチを「入」にしてください。
この操作をくり返しても点滅する場合はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを相込んでいます。
- 器具の電源プラグが抜けているとヒーターは動きませんのでご注意ください。
- ヒーターによる凍結予防は補助的なものです。外気温が極端に低い場合は「通水による方法」を行なって下さい。

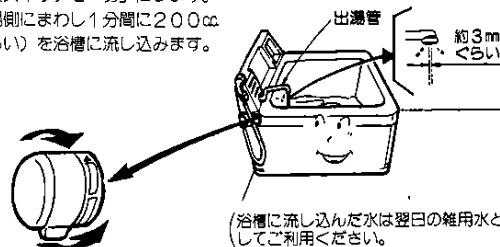


電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
電源プラグが外れているとヒーターが作動しません。

通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。

- ①ガスの元せんをしめます。
- ②コントローラの運転スイッチを「切」にします。
- ③止水栓つまみを給湯側にまわし1分間に200cc(牛乳ビン1本ぐらい)を浴槽に流し込みます。



※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

冬期の凍結による破損防止について②

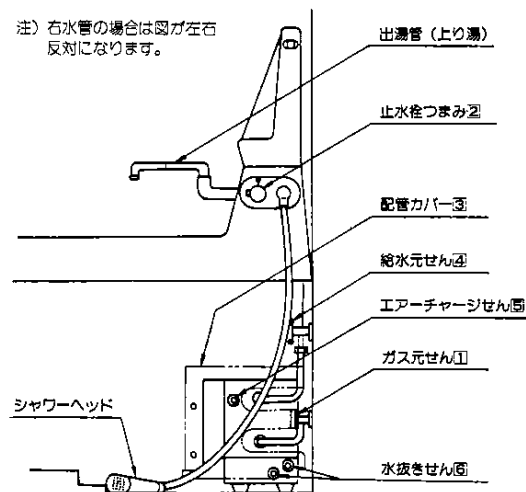
器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

- ①配管カバー③を取り外す。
- ②ガスの元せん工①をしめる。
- ③給水元せん④をしめる。
- ④止水栓つまみ②を給湯の位置にする。
- ⑤給湯配管している場合は、洗面所・台所等の給湯せんを全開にする。
- ⑥コントローラの運転スイッチを「入」にし、ふろスイッチを「入」にする。
- ⑦エアチャージせん⑤を左にまわしてあげる。
- ⑧水抜きせん⑥を左にまわしてあげる。
- ⑨止水栓つまみ②をシャワーの位置にし、図のようにシャワーヘッドを床におく。
- ⑩運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、水抜きせん⑥より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再度使用されるときは、水抜きせん⑥、エアチャージせん⑤、およびすべての給湯せんをしめ、止水栓つまみ②を止の位置に戻してから給水元せん④をあけすべての給湯せん、および出湯管、シャワーヘッドから水が出るのを確認してからガス元せん工をあけ、配管カバー③を取り付けた後ご使用ください。

注) 右水管の場合は図が左右反対になります。



(凍結したときのご注意)

万一、水抜きを忘れて凍結を起した場合には、氷が解けるまで火をつけしないでください。すべての給湯せんから水が出ることを確認してからご使用ください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯せんを絞らずに水になった	この器具は流量が2.5 ℓ/min以下になったときに消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯せんをもう少し開いて出湯量をふやせば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
排気口から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙として見えるだけで故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため使用後約3分間は回転しています。
ふろ運転中一時停止する(ふろランプは点灯)	ふろ運転中に給湯・シャワーを使用すると自動的に給湯湯温調節モードになりふろ運転が停止します。給湯・シャワーの使用がおわれれば引き続きふろ運転になります。
ふろアダプタから泡がでる	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ出てくるもので故障ではありません。

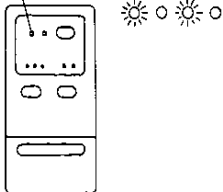
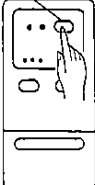
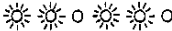
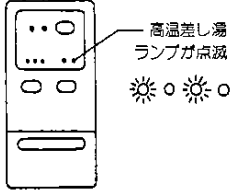
- この器具は連続して60分以上燃焼した場合(給湯、ふろ共)は燃焼ランプが点滅し、ガスを自動的に止めます。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

- 浴そうの排水せんの締め忘れや締め方が不十分で30分経過後も設定水位に満たない場合、ガスを自動的に止めます。この時は、浴そうの排水せんを完全に締めたのち、ふろスイッチを再度押しします。

故障異常の見分け方と処置方法②

警報について

次のような場合にはランプが点滅して警報状態となります。

項 目	内 容 及 び 処 置
1. 燃焼ランプが点滅 	<p><u>バーナに点火しなかった</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス元せんが開いていることを確かめてください。 ●運転スイッチをいったん「切」にし、数秒待った後、再び「入」にしてください。 <p>← 運転スイッチ</p> 
2. 燃焼ランプが間欠点滅 	<p><u>使用中に消火した</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●60分以上連続して使用した場合、ガスを自動的に止めます。 ●運転スイッチをいったん「切」にし数秒待った後、再び「入」にしてください。
3. 高温差し湯ランプが点滅 	<p><u>ふる湯温検知部の異常</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふるの使用はできません。 ●給湯（シャワー、出湯管）は通常通り使用できます。

再使用できなかったりひんぱんに警報になる場合及び3.の場合は、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス社にご連絡ください。

故障異常の見分け方と処置方法③

現象 原因	点灯しない										処置方法	
	運転ランプが点滅しない	燃焼ランプが点滅しない	高温差湯ランプが点滅しない	高圧保護運転ランプが点滅しない	運転ランプが点滅しない	電源ランプが点滅しない	給水元せんが点滅しない	湯温調節ランプが点滅しない	60分以上連続使用ランプが点滅しない	残り湯(水)が多すぎる		その他
ガス元せんの開き忘れ		○										ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開き不足		○			○							ガス元せんを全開にする
ガスがなくなっている (LPガスの場合)		○			○							ボンベを新しく替える
ガス管の中に空気が残っている		○										15ページ参照
ガス圧が適切でない		○			○	○						*
電源プラグが抜けている	○	○			○							コンセントにしっかり差し込む
停電している	○	○			○							使用をいったん中止する
漏電ブレーカの作動	○											15ページ参照
安全装置の作動		○	○	○	○							*
バーナー炎口づまり		○				○						*
湯温調節機能を切替えていない										○	○	13ページ参照
給水元せんの開き不足		○										給水元せんを全開にする
給水元せんの開き忘れ		○										給水元せんを全開にする
湯温調節が適切でない										○	○	13ページ参照
60分以上連続使用した			○			○						18ページ参照
残り湯(水)が多すぎる										○		11ページ参照

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社へご連絡ください。

故障異常の見分け方と処置方法④

安全装置が作動したときの処置方法

■バーナ安全装置

- 使用中に万一、バーナの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
- 給湯せんを開けてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

- 使用中に器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを開め、操作部の運転スイッチを切ってからお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■残火安全装置（ハイリミットスイッチ）

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを開め、操作部の運転スイッチを切ってからお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。

- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを開め、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■過圧逃し弁

- 万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き、内圧を下げます。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、お買い求めの販売店又はもよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
- お手入れの前にはガス元せんを閉じ、電源プラグを抜き、器具が冷えてからお手入れをしてください。
- 前面板などをはずさないでください。

点検

- 運転中に器具から異常音が聞えませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりおよび排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。
- 給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。（他給湯湯をしている場合）
〔注〕水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

お手入れ

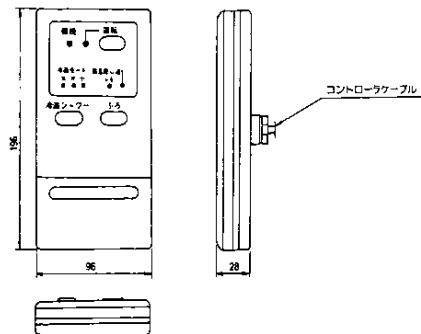
- 器具やコントロールの表面が汚れたときは、水にぬらしただやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
〔注〕コントロールの内部には電気部品が入っていますので、なるべく水をかけないようにしてください。
- 浴槽本体や浴槽の小物置きの部分の表面はやわらかいスポンジを使い浴槽用洗剤で洗ってください。クレンザーやたわしは傷をつけますので使用しないでください。
- 入浴のあと水を流すときに洗うと簡単です。時間がたつとすじが汚れが落ちにくくなります。
- 地域（所）により水道管の鉄分が水と共に流れ出し、浴槽の底部には点状の赤錆が付着することがありますので、底部の掃除は十分に行なってください。

長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については17ページをお読みください）

寸法図と仕様一覧表②

●フロントローラ

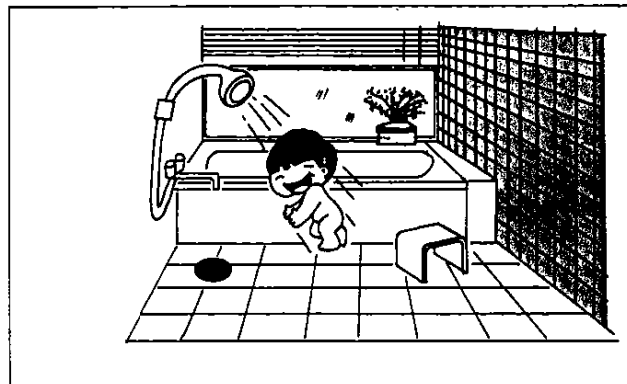


仕様一覧表

項目		種別	31-755、756型			
ガス消費量 (kcal/h)			都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	L P ガス
			19000	19000	19000	1,58kg/h
種類	形	式	アンゼン式バーナー			
	給湯方式		先止め式			
点火	方	式	電子イグナイターによるダイレクト点火			
	使用水圧		1.0~10kg/cm ²			
水圧	作動水圧		0.2kg/cm ²			
	最低作動流量		2.5ℓ/min以下			
外形寸法	重量 (本体)		器具本体高さ555mm×幅118mm×奥行710mm			
			器具本体 24kg			
接続	給	水	15A (R $\frac{1}{2}$)			
	給	湯	15A (R $\frac{1}{2}$)			
	ガ	ス	15A (R $\frac{1}{2}$)			
電気関係	電源		AC100V 60Hz			
	消費電力		60W (凍結予防ヒーター 96W)			
安全装置			炎検出装置、過圧逃し弁 残火安全装置、凍結予防ヒーター、漏電安全装置 過熱防止装置、水抜きせん			
日水協認可登録番号			A-3511			

ガス種別	出湯能力 (能力最大) (ℓ/分)		
	上昇温度	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	6C	10	6.3
	13A	10	6.3
	6A	10	6.3
L P ガス		10	6.3

本製品と快適なくらしのために



年中、快適に風呂給湯と、追い焚き(高温差し湯)シャワー、上り湯が使用できます。又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。